

令和5年度 地域文化活性化助成 活動成果概要

団体名・個人名	高林永統
活動名称	大阪の伝統文化を伝える重文民家・高林家住宅の年中行事の記録と百舌鳥精進の体験会、およびセミナーの開催
活動内容	<p>本活動では、400年間、堺の地で代々が生活し続けてきた証である伝統行事を後世に伝える為、伝統行事の記録書や動画の作成を行う。地元の皆さんに伝統行事を伝承し、他地域にお住いの方にも広く知っていただけることを目的に活動を進める。</p> <p>具体的には下記の3点に取り組む。</p> <p>① 高林家住宅での年中行事の写真記録冊子と動画の作成(プロのカメラマンや制作会社にも委託して、記録冊子と動画を作成する)。</p> <p>② 代表的な年中行事である百舌鳥精進の体験会 百舌鳥精進をどう守っているかを解説したあと、竈で作った雑煮と、精進料理を座敷で試食してもらい雑煮や料理のレシピも紹介する。</p> <p>③ 重文民家が伝える伝統文化を紹介するセミナーの開催 他家の重文民家所有者の協力を得て、重文民家が伝える伝統文化を紹介する。</p>
活動のコンセプト・ねらい	<p>伝統的な年中行事は、それを実施する場（ここでは家）が必要です。また伝統的行事が有るからこそ、それを実施する家が今日まで守られて来ました。高林家住宅は、時代の変化の中で400年近く建物が守られて来たため、今日まで伝統的な行事を伝えてきました。高林家が代々伝えてきた大阪の伝統文化行事を記録に残すこと、また一般市民に生きた伝統文化の魅力と継承の重要性を理解いただくことです。</p>

活動実績	<p>① 高林家住宅での年中行事の写真記録冊子と動画の制作 令和5年4月～令和6年3月までの1年間をかけて制作しました。年間行事の代表的なものを動画に収め、その他の行事も含めて冊子に掲載しました。なお、双方とも完成は令和6年6月頃を予定しております。</p> <p>② 代表的な年中行事である百舌鳥精進の体験会(令和6年1月7日実施) 近隣の住民にも声をかけて体験して頂き、中世の頃から続く我家の変わらぬ正月料理を試食していただきました。また当該イベントに対するアンケート調査も実施しました。</p> <p>③ 重文民家が伝える伝統文化を紹介するセミナーの開催(令和5年11月19日実施) 落語家で僧侶の露の団姫さん、郷土史研究家の藤木博則氏をゲストに招き、団姫さんの落語観賞の後、当主とゲストによる文化の継承についてのシンポジウムを行いました。また当該イベントに対するアンケート調査も実施しました。</p> <p>※ 上記イベントのチラシ・案内状・アンケートの結果報告等は、別途郵送致します。</p>
------	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業の成果・効果</p>	<p>① 令和5年4月～令和6年3月までの1年間をかけて動画を作成しました。収録しました行事は、高林家の年中行事の中でも中心的な以下のものです。年末年始を含めた正月行事・小正月の行事・節分・初午・不動尊祭り(大般若)・端午の節句・お盆の行事・中秋名月の観月祭・天神祭等とインタビュー</p> <p>冊子につきましては、上記以外の小行事も併せて写真を中心に作成しました。なお、動画と記録冊子の完成は編集作業を経て、令和6年6月頃を予定しています。</p> <p>② 百舌鳥精進体験会は、午前と午後の二部制で実施しました。百舌鳥精進をどう守っているかを解説したあと、竈で作った雑煮と、精進料理を座敷で試食してもらい雑煮や料理のレシピも紹介を行いました。地元地域の方々をはじめ大阪府内の皆様など、総勢28名の方に参加していただくことが出来ました。また大阪教育大学の先生と学生さん5名、堺市役所の職員様2名もスタッフとして協力頂きました。参加者の皆様には、動物性のものを一切排した中世から続く精進料理のレシピを配布し、実際に食して頂きました。思った以上に美味しいとの評判でした。</p> <p>③ 落語会・シンポジウムには、地元の方々をはじめ大阪府内外から計49名(有料入場者35名)の方が来場されました。大阪府と堺市の文化財担当職員の方にもご参加いただきました。受付等には、大阪教育大学の学生さんの協力を得ました。前半は上方落語を堪能頂き、後半は大阪府そして当家に纏わる伝統的文化や行事の実態や今後の継承の仕方について議論致しました。特に当家については建造物と伝統行事が相互扶助の関係にある点について、多くの方のご理解を得ることができました。</p> <p>なお、②百舌鳥精進体験会と③落語会・シンポジウムでは、参加者の方に感想をお聞きするアンケートに答えていただきましたので、その結果は今後の行事を公開する際の参考にします。(結果については別途郵送します。)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の展開</p>	<p>高林家の建造物は国の重要文化財に指定されているため、未来永劫残って行きます。しかし、現在の所有者が個人である以上将来的に公有化される可能性は否定できません。</p> <p>万一そのような事態になればこれまで続けられていた伝統的行事・文化はその時点で終止符が打たれる事態となります。そうなった場合今回の記録は、過去にこの家或いはこの地域でどのような伝統的行事がなされてきていたかを知る上で重要な資料・遺産となり得るものを作成できました。</p> <p>また、伝統的行事は普段外部から見ることのできないものですので、見学に来られた方への説明や、研究者や学生さんにも研究資料としてご覧いただけるものと思います。</p> <p>そして、この文化をいつまでも継続できるように大勢の方々の理解と協力を得て参りたいと思っております。</p>

以下、活動内容のわかる写真等を添付してください。



記録ビデオの撮影（端午の節句）



記録ビデオの撮影（お盆 床飾り）



落語会・シンポジウムを開催（令和5年11月19日）



百舌鳥精進体験会を開催（令和6年1月7日）



精進料理体験会の準備（令和6年1月7日）



雑煮炊き（令和6年1月7日）